

東アジア都市観光協力に関する釜山宣言

1. 2009年を「環黄海イヤー」と位置づけ、推進機構会員都市の観光イベントなどの機会を生かして連続的にプロモーションを行い、そのための環黄海イヤーキャンペーンを実施する。
 - (1) 各会員都市が実施している既存の国際イベントに「環黄海イヤー」の名を冠とする。
 - (2) 国際イベントの開催都市は会員都市の参加を促すために、ブース料や基本装飾など可能な限り便宜供与を行う。
 - (3) 10都市のキャラクターなどを活用して、東アジア経済交流推進機構のPRツール(看板, ロゴ, キャッチフレーズなど)を作成して、各都市の国際イベントで活用する。
 - (4) 観光情報のネットワーク化に向けて、環黄海観光ウェブサイトと会員都市のホームページや旅行会社のホームページリンクなどの充実を図る。
2. 「2009環黄海イヤー」推進は、会員都市全ての都市が参加するプロジェクトであり、円滑な推進に向けて積極的に協力する。
 - (1) 国別の幹事都市は共同プロジェクト推進に主導的な役割を担う。
 - (2) 環黄海イヤーを牽引するシンボルイベントを各都市の国際イベントに併せて検討する。
 - (3) 共同プロジェクトの経費は会員都市が均等に負担する。
 - (4) 観光部会は、第3回東アジア経済交流推進機構総会において、本プロジェクトを提案する。会員都市は、本プロジェクトが機構の共同プロジェクトとして認定を受けることを目指して協力する。
3. 各会員都市が進める「会員都市間観光プロモーション」事業に対して相互協力する。

2008年10月7日

東アジア経済交流推進機構第4回観光部会
観光部会主幹事都市 釜山広域市